

検査情報月報10月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



衛生研究所のInstagram
フォローお願いします！

令和8年10月発行

夏期食品収去検査結果（令和8年度）

▶ 夏期食品等一斉点検は、厚生労働省の通知に基づき、夏期に多発する食中毒等食品による事故防止と食品衛生の確保を目的に全国一斉に実施されるものです。横浜市においても令和8年6月1日から8月31日までを重点監視期間と定め、一斉点検を行いました。

主な結果 ▶ 食品添加物検査 菓子類、清涼飲料水、かん詰・びん詰食品等の食品115検体（輸入品100検体、国産品15検体）について、保存料、着色料、甘味料など2,551項目の検査を実施しました。**検査を実施した13検体**については、**原材料由来と思われる酸化防止剤や保存料を検出した検体**、甘味料や品質保持剤使用の**表示が記載されているが不検出となった検体等**の事例がありました。これらについては、収去を担当した区福祉保健センター等が輸入者等を所管する自治体に調査を依頼しています。

▶ **細菌検査** 細菌検査の内訳は、魚介類9検体、冷凍食品4検体、肉卵類及びその加工品6検体、乳製品2検体、清涼飲料水13検体、その他の食品13検体、計47検体82項目でした。検査の結果、**規格基準違反はありません**でした。

農産物の残留農薬検査結果（令和8年7月～8月）

▶ 食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

主な結果 ▶ 市内産農産物 7月にきゅうり5検体、なす4検体、トマト3検体、えだまめ、こまつな、とうもろこし、にんじん及びばれいしょ各2検体、いんげん及びピーマン各1検体の計24検体、8月になす8検体、きゅうり及びにんじん各1検体の計10検体について検査を行いました。

▶ これら合計34検体の検査を行った結果、トマト3検体、きゅうり及びなす各2検体、こまつな及びにんじん各1検体から**延べ14項目の農薬**が検出されましたが、**残留農薬の規格基準値を超えるものはありません**でした。

横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和8年9月）

▶ 衛生研究所は保健所と連携しながら、科学的・技術的支援機関として、市民生活に密着した健康・安全・安心に関する試験検査や調査研究を実施しています。また、これらの業務で得られた感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事に関連する情報を、WEBページなどで公開しています。

▶ **横浜市インフルエンザ流行情報（インフルエンザの最新情報はこちら）**

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/rinji/rinji.html>